

四国八十八カ所霊場の遍路道周辺の清掃に取り組んでいるNPO法人徳島共生塾一步会(徳島市)が、2014年の緑化推進運動功労者総理大臣表彰を受賞することが決まった。徳島から始めた活動を四国全体に広げ、遍路道の美化につなげた点が評価された。

一步会(徳島市)に総理大臣表彰

04年から遍路道美化

一步会は「身近なことから、環境のために一歩ずつ」を合言葉に、街中の緑化推進を図ろうと1997年4月に結成された。04年から地域住民や行政、各種団体と連携し、遍路道周辺に不法投棄されたごみの撤去に取り組んでいる。

06、07年には独自の調査や歩き遍路からの情報を基に、四国の不法投棄の実態などをまとめた「ごみ地図」を作製。環境保全の必要性を訴え、

四国への広がり評価

各県の遍路道で清掃活動が行われるようになった。

新開善二理事長(77)は「受賞は地域住民らと取り組んできた結果であり、共に歩んできた皆さんと一緒に喜びたい」と話し、今後も清掃活動を続ける考えを強調した。

25日に東京で開かれる「みどりの式典」で授賞式が行われる。今年は一歩会を含め、全国で10団体と2人が総理大臣表彰を受ける。(新居和人)



遍路道周辺に捨てられたごみを拾い集める一步会の会員ら。2013年3月、神山町阿野